

6月男女平等月間の取り組み

男女平等セミナー
働く女性の労働相談ダイヤル



ファザーリングジャパン吉田氏



県労働政策課間々田氏



講師の問いかけに挙手をして答える参加者

～男女ともに育児休業の取得を！～

6月11日、前橋市総合福祉会館にて開催し、執行部、産別、地協、議員懇、一般県民など、211名が参加しました。今回は、子育て中の組合員が安心して参加できるよう、はじめて託児室を設け、7名のお子さんを預かりました。

第1部は、父子家庭や男性の育児休業者、被災地の父親を支援している、NPOファザーリング・ジャパンの吉田大樹理事より、「働き方や生き方の変革で男性の育児が変わる」と題した講演が行われました。吉田氏は自身の1ヵ月半の育児休業を振り返り、「一日中子どもと過ごすことで、子どもとの信頼関係の構築に役立ち、虐待防止の効果もある

と感じた」と話し、「父親が子育てを楽しむコツは、①働き方を見直し、長時間労働や無駄な残業をなくすこと、②家事に積極的に関わり、家事が出来ないと思わず実際にやってみると楽しく感じられる、③子育ては質より量であり、仕事が忙しくても量をこなしてみる。質を追求しすぎずコツコツとやってみることが大事」と話されました。

第2部では、群馬県育児いきいき参加企業認定制度について、群馬県労働政策課の間々田祐美子氏を講師に迎え、「従業員300人以下の県内の中小企業を対象とし、育児休業制度を中心とした両立支援の取り組みを宣言することを条件としている」と、県の事業について説明を受けました。

～女性相談員の対応で、安心して相談を～

6月17日～18日、女性委員と男女平等参画推進委員など、女性の相談員が対応する「働く女性の労働相談ダイヤル」を実施しました。

新聞折り込みをした前日の5件を含むと全体で28件の相談がありました。内容は、「パワハラやいじめを受け悩んでいる」、「会社の業績が悪くなり残業代が不払いとなっている」など、男女差別や賃金未払いなどの相談を受けました。



はじめての電話対応でも、しっかりと受け答えする女性委員

青年委員会 スポーツ交流 「タグラグビー」を熱く開催!!

6月25日、太田市のパナソニックワイルドナイツラグビー場で、12産別1地協より159人(うち女性は20人)が参加し、盛大に開催しました。

青年委員会では、産別や組織の枠を超えて交流をしようと、スポーツを通じて行っていますが、今回は「タグラグビー」という初めてのスポーツに挑戦しました。

参加者は16チームに分かれ、三洋ラグビー部OBの方の指導のもと、1時間の準備運動とルールの説明を受け、4ブロックに分かれて試合を行いました。各チームとも初めての競技とあって最初はなかなかうまくいきませんでした。徐々に慣れてきて試合をこなすごとに上手になり、真剣勝負

そのものといった熱い戦いとなりました。

また、チームの結束も高まり参加者同士の交流がはかれました。



タックルの代わりに腰に付けたタグをとる

当日、受付にて「東日本大震災復興支援カンパ」を行い、参加者から13,232円のカンパ金が集まりました。ご協力ありがとうございました。